

平成23年度 膳所小学校 学校評価

学校教育目標

ひとり立ちできる子ども

領域	評価項目	自己評価	学校関係者評価
A 学習指導	子どもに、学習指導要領の内容を確実に身に付けさせるために授業の工夫をしている。	A	A
	学年の発達段階に応じた学習規範が身につくように、計画的・継続的に指導している。	A	A
	運動会や音楽会の行事を節目として子どもの学習意欲が高まるように努めている。	A	A
	学ぶ楽しさを味わうことのできる授業を、子どもと一緒にめざしている。	A	A
	課題に集中し、友だちや先生の話をしっかり聞くよう指導している。	A	A
	たくましい心と体を育てる授業の工夫改善に努めている。	A	A
	ICT機器を活用して、わかりやすい授業をしている。	B	A
B 社会性・人間性の育成	全教育活動を通して、思いやりの気持ちや社会のルールを守る気持ちが育つように継続的に指導を行っている。	A	A
	場に応じたあいさつがしっかりとできるように継続的に指導している。	A	A
	掃除など額に汗することを惜しまず実行できるよう継続的に指導している。	A	A
	道徳の授業研究や資料の開発・交流に努めている。	A	A
C 教育相談・生徒指導	日頃から子どもとの関わりを意識的に高め、子どもが気軽に相談できる雰囲気づくりに努めている。	B	A
	子ども一人ひとりの理解に努め、個に応じた教育をするように努めている。	A	A
D 保護者地域との連携	学校の教育活動の参観を積極的に保護者や地域に案内するなど、開かれた学校づくりに努めている。	A	A
	学校だより等を通じて様々な教育活動を積極的に保護者や地域に公開している。	A	A
	地域の人や物とのかかわりを重視した教育活動をしている。	A	A
	日頃から保護者の相談を受けたり、懇談会で子どもの成長について誠実に話し合いをしたりしている。	A	A
E 学校・学年・学級経営管理	安全点検やパトロールを実施し、子どもが安心して学習できる環境づくりに努めている。	A	A
	職員が協力して教育力の向上に、計画的に取り組んでいる。	A	A
F 特色ある教育活動	多少の困難に負けず、繰り返し挑戦し、やり遂げる充実感にひたれるよう指導している。	A	A
	望ましい運動習慣を育て、健康で明るい生活づくりに努めている。	A	A
	運動会や音楽会の行事やたてわり活動などを通して、高学年の子どもが低学年の子どもの良きモデルとなる伝統を築いている。	A	A
	体験活動や読書活動を重視している。	A	A
	中学校や幼稚園・保育園との子どもの交流や、出前授業などが教育課程の中に定着している。	B	A

評価について

12月に上記の評価項目について職員が自己評価を行った。2月に学校協力者同様の評価を実施した。そして、2月の学級懇談会で保護者に説明を行った。

評価の方法

そう思う(あてはまる)場合は、3点
 どちらかといえばそう思う場合は2点
 どちらかといえばそう思わない場合は1点
 そう思わない場合は0点
 それぞれの項目で平均点を求めた。

評価の基準

A(満足できる) 2点以上
 B(おおむね満足できる) 1.7~2点
 C(課題がある) 1.7点未満